

平成24年行政事業レビューシート

(農林水産省)

事業名	森林・林業人材育成加速化事業	担当部局	林野庁 林政部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成26年度	担当課室	経営課林業労働対策室	林業労働対策室長 井出 光俊				
会計区分	一般会計	施策名	森林の有する多面的機能の発揮 林業の持続的かつ健全な発展 林産物の供給及び利用の確保					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	森林・林業基本法第21条	関係する計画、通知等	我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画 (平成23年10月25日食と農林漁業の再生推進本部決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」において、森林・林業再生プランの推進が盛り込まれたことを踏まえ、森林・林業の再生に必要な人材育成を加速化するため、森林整備加速化・林業再生基金に人材育成に関するメニューを追加し、経常対策(森林・林業人材育成対策)を補完する形で、各都道府県段階での地域の実状を踏まえた取組に対し支援を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)地域における森林施業プランナーの緊急育成支援 地域の実状を踏まえた森林施業プランナーの育成のため、研修等の企画委員会等の開催等、森林施業プランナー育成研修の開催、地域に融合した森林施業プランナーへの個別指導について支援 (2)素材生産作業を低コストに行える人材の緊急育成支援 素材生産を低コストに行える人材を育成しようとする林業事業体を支援することを目的に、素材生産に必要な講習等への参加、労働災害防止対策、現場管理責任者等としての能力付与のための講習等への参加について支援 (3)森林作業道作設オペレーターの育成加速化支援 都道府県が定めた「森林作業道作設指針」に基づき、各地域の地形、地質及び作業システムを踏まえた森林作業道の路線選定や作設方法について、林業事業体、森林組合その他の林業関係者の技術的知見を深めるための現地における検討会の開催について支援 [補助率:定額(ただし、都道府県指導等事業費については1/2)] 注)森林施業プランナー … 路網計画や間伐方法等の森林施業の方針、利用間伐等の施業の事業収支を示した施業提案書を作成し、それを森林所有者に提示して合意形成と森林施業の集約化ができる者							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-		
		補正予算	-	-	4,432			
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	4,432	-		
	執行額			4,432				
	執行率(%)			100%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (32年度)	
	フォレストマネージャー等の育成人数	成果実績	人	-	-	436	5,000	
		達成度	%	-	-	9%		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	研修等参加人数	活動実績 (当初見込み)	人	-	-	0	-	
				-	-	0	(8,625)	
単位当たり コスト	79万円/人	算出根拠	積算上の研修等参加人数を基に算出した。 44億円/5,580人=79万円					
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	森林・林業人材育成加速化事業	0						
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	経常対策(森林・林業人材育成対策)を補完する形で、各都道府県段階での地域の実状を踏まえた取組に対し支援を行うものであり、ニーズがあり、優先度も高い。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業実施のために都道府県へ基金造成を行うために支出するものであり、支出先の選定は妥当である。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成23年度は都道府県に基金を造成したのみで、平成24年度より活動を開始するものである。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
	森林・林業の再生に必要な人材を育成するにあたり、各都道府県の実状によって、森林施業プランナーや効率的な素材生産等に対応した現場技能者など育成していかなければならない人材が異なることから、経常対策(森林・林業人材育成対策)を補完する形として、各都道府県の実状を踏まえた取組に対し支援を行うものであり、森林・林業の再生に必要な人材育成を加速化させるためには不可欠であることから、本事業を実施していくこととする。		
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

農林水産省
4,432百万円

【補助】

A 都道府県
(47都道府県)
4,432百万円

(・基金の造成 4,432百万円)

～今後のイメージ～

平成23年度は都道府県に基金
を造成したのみ。平成24年度より
事業開始予定。

【委託】

B 実施主体
(林業労働力確保支援セ
ンター等)

(・素材精査を低コストに行える人
材の緊急育成支援等)

【公募】

C 林業事業体

(・講習等の実施及び受講に必要な経費負担等)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.島根県			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	基金造成にかかる費用	370			
計		370	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	島根県	基金の造成	370	-	-
2	高知県	基金の造成	268	-	-
3	愛媛県	基金の造成	198	-	-
4	徳島県	基金の造成	187	-	-
5	岐阜県	基金の造成	184	-	-
6	鳥取県	基金の造成	179	-	-
7	北海道	基金の造成	177	-	-
8	福島県	基金の造成	175	-	-
9	秋田県	基金の造成	167	-	-
10	兵庫県	基金の造成	156	-	-

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					